

|              |  |   |
|--------------|--|---|
| エゾナミキ        | <i>Scutellaria yezoensis</i> Kudô  | 絶滅危惧Ⅰ類  |
| (環境省:絶滅危惧Ⅱ類) |  | シソ科   |
| 選定理由         | 既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。   | 写真(清水英彦)  |
| 形態の特徴        | 茎は4角で直立し、高さ10+-40cmになる多年草。茎はやや無毛で、稜上にだけ上向きの短毛がある。葉は卵形～狭卵形で、先がやや尖る。花期は6-9月。花は長さ2-2.2cm、青紫色で、上部の葉腋に1個ずつつき、基部で折れ曲がってほぼ直立する。 |   |
| 生態的特徴        | 湿地に生える。  | <br> |
| 分布状況         | 本州北部、北海道、千島、樺太、朝鮮に分布する。県内では県北の北部に生育する。   |   |
| 減少要因         | 本種の分布域は県北の北部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。   |   |
| 保全対策         | 生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定することのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。  |   |
| 特記事項         |  |   |
| 参考文献         | 佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)  |   |

文責:佐藤和良